

## 【NEWS RELEASE】

2020年12月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

フタバ産業株式会社に対する「ESG/SDGs評価」に基づく  
シンジケートローンを実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、フタバ産業株式会社（代表取締役社長：吉貴寛良）に対し、「ESG/SDGs評価シンジケーション」における「ESG/SDGs評価」に基づくシンジケートローンを組成いたしました。

本件は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）と弊行が作成した基準に基づき、フタバ産業株式会社のESG側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、その趣旨に賛同頂いた金融機関によって組成されるシンジケートローンとなります。

今回対象となりましたフタバ産業株式会社の取組は、環境側面（E）、社会側面（S）およびガバナンス側面（G）の各項目について高い水準であると判断され、サステナビリティに向けた企業経営において、良好な取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲をお持ちであることから、上位評価の取得となりました。

特に、ESG及びSDGs達成に向けた取組では、以下の内容が高く評価されました。

- E：事業活動に伴うCO2排出量を精緻に把握していること。また、自動車の軽量化に貢献する製品や環境負荷低減に資する排ガス除去装置の提供のほか、新事業として、排気ガスを浄化、CO2を貯留・供給する装置「agleaf®（アグリーフ）」を開発していること。
- S：製品の安定供給に向けた取組のほか、従業員のワーク・ライフ・バランス推進に向けて、「ふたばサポート」として育児休職制度や短時間勤務制度等を整備していること。また、地域コミュニティの社会的課題解決の取組として、海外の事業所では元受刑者への雇用機会の付与等を実施していること。
- G：中長期的な企業価値向上に向けた取組を全社的に推進するため、2020年1月に「企業行動推進室」を設置していること。また、フタバ産業レポートのトップメッセージや、2016～2020年度の中期経営計画「新5ヵ年計画」において、「モノづくりで社会に貢献」する姿勢を明確にしていること。
- SDGs：持続可能な社会の実現に向けた取組として、環境負荷低減に資する製品を開発し（インプット）、その普及（アウトプット）を通じて気候変動の緩和を実現（アウトカム）し、SDGsが示す「目標7」「目標13」等の達成に貢献していること。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価シンジケーション」のESG評価を踏まえた情報提供を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。